

自治会活動事例集

令和6年度版



那須塩原市自治会長連絡協議会
那須塩原市



<はじめに>

この「自治会活動事例集」は、市内の自治会の様々な活動を紹介し、今後の自治会活動の参考として活用いただくことを目的に那須塩原市自治会長連絡協議会と那須塩原市が共同で制作しました。

防犯、防災、福祉、各種交流事業など、様々な活動を掲載しています。それぞれの自治会において、新たな活動に取り組むヒントとしてぜひ御活用ください。

最後に、「自治会活動事例集」の作成にあたって、情報提供や取材協力などに御協力いただきました自治会長の皆様に深く感謝申し上げます。

<目次>

地域交流活動	自治会名	ページ
みんなで歌いましょう♪&100歳体操	中央町自治会	1
みんなで建てた自治公民館	新緑町自治会	
婦人部マルシェ	新緑町自治会	
自治会活動に参加してもらうために	若松団地自治会	2
高齢者交流事業&団地お楽しみ会	緑ヶ丘団地自治会	
ボウリング大会の復活	美原町自治会	
越堀秋まつり	越堀自治会	3
ふれあい体育祭	方京自治会	
盛んなサークル活動	石林自治会	
自治会交流会	高柳自治会	4
クリスマス会	南郷屋自治会	
繭玉づくり	南郷屋自治会	
地域ふれあい活動	北赤田自治会	
秋祭り	上赤田自治会	

地域交流活動（子ども向け）	自治会名	ページ
黒七フリマ	黒磯七区自治会	5
ハロウィンイベント	豊浦町自治会	
大人と子どもが地域を楽しむ！親子ウォークラリー	二区町自治会	6
文化活動（鱒つかみ・餅つき・ニュースポーツ体験）	石林自治会	
上井口温泉神社祭り	上井口自治会	
世代間交流会	南赤田自治会	7
子どもたちが夢中になって魚を追いかける！	高阿津自治会	

環境美化活動	自治会名	ページ
花植栽事業	黒磯幸町自治会	8
ごみ減量への高い意識	松浦町自治会	
環境美化活動	若松団地自治会	
環境美化活動	緑ヶ丘団地自治会	
資源ごみ回収	下永田自治会	9
環境美化運動	三区町自治会	
廃品回収	高柳自治会	

防犯・防災活動	自治会名	ページ
独自の防災計画を作りました	黒磯七区自治会	10
防災活動	豊浦町自治会	
歩け歩けレクリエーション（防災訓練&レクリエーション）	松浦町自治会	
自主防災組織の創設	北栄町自治会	
地域防災のデジタル化	北栄町自治会	11
避難訓練	越堀自治会	
「共生と継承」を目的とした防災訓練	長久保自治会	12
通学路安全確認とカーブミラー清掃	西三島自治会	
スクールガードボランティア（平成18年～現在）	西三島自治会	
青パトによる防犯パトロール（平成27年～現在）	西三島自治会	13
自主防災訓練	北赤田自治会	
防犯・防災活動	上赤田自治会	

地域福祉活動	自治会名	ページ
加入して良かったと思える“平等公平な”自治会運営を	豊浦町自治会	14
健康講話&防災・交通安全教室	若松団地自治会	
自治会貢献者の慰労	北栄町自治会	
自治会内一斉メール連絡網を活用した高齢者の見守り	北栄町自治会	
誕生月花プレゼント	東那須野区自治会	15
つながり合い運動	三区町自治会	
地域福祉活動（友愛訪問・げんきかい）	石林自治会	16
生きがいサロン活動	南郷屋自治会	
いきいき子育てサロン	西三島自治会	
いきいき百歳体操	西三島自治会	17
高齢者お楽しみ会	南赤田自治会	
地域福祉活動	北赤田自治会	

自治会加入促進	自治会名	ページ
自治会加入促進の取り組み	豊浦中町・上豊浦3-1自治会	18
自治会加入促進	豊浦町自治会	
自治会活動活性化について	上井口自治会	

広報活動	自治会名	ページ
手作りの回覧作成	豊浦町自治会	19
自治会広報誌の発行	若松団地自治会	
自治会誌「ちょっと聞いて！」の毎月発行	北栄町自治会	

その他	自治会名	ページ
自治会活性化	豊浦町自治会	20
自治会活動の中で工夫していること	美原町自治会	
全ての会員が活躍する自治会に向けて	沓掛自治会	21
自治会活動活性化のために	南赤田自治会	



地域交流活動

みんなで歌いましょう♪&100歳体操

中央町自治会

中央町みなさんが歌を通して交流している「みんなで歌いましょう」は平成27年6月から始まり、年4～5回開催され、すでに30回を超えています。懐かしい唱歌や童謡などをキーボードの演奏に合わせてたり、ハーモニカの演奏に合わせてたりして元気に歌います。

また今年度に入ってから那須塩原市基幹型地域包括支援センターさんの協力を得て毎月3回DVDを観ながら楽しく体を動かす「100歳体操」を始めました。

歌と体操で交流や健康増進を図り、当日欠席者がいればその方の様子を見に行ったりと「見守り活動」にもなっています。



みんなで建てた自治公民館

新緑町自治会

以前まで新緑町には自治公民館がありませんでした。しかし、平成23年、多くの方の協力を得て、自前の自治公民館を新設することができました。

町内の方から用地を提供していただき、自治会予算からの支出の他、特別協賛金として広く寄付を集めて建設が決定されました。

建設作業は、ほとんど専門の業者に依頼せず、自治会加入者のボランティアで行いました。町内には建築や土木関係の職人が複数いるため、その方々の指示のもと、住民が協力して作業を行いました。

建設が具体化してから3年、一人のけが人も出さずついに完成の日を迎えました。完成を祝して、ご尽力、ご協力いただいた方々を招待し、落成式を盛大に行いました。

自治公民館が完成してからは、自治会の行事はますます多様化し、充実しています。今や、なくてはならない憩いの施設となっています。



婦人部マルシェ

新緑町自治会

令和6年3月、自治会婦人部が中心となり、新緑町自治公民館にて「マルシェ」を開催しました。

各家庭から不要になった物を持ち寄って販売し、収益金を能登半島地震災害義援金として全額寄附しました。

婦人部文化祭として実施していた頃からの恒例行事で、他の自治会からも多くの方が参加してくれています。



自治会活動に参加してもらうために

若松団地自治会

日中、公園のベンチでおやつを食べながらおしゃべりをしている高齢者に、自治会行事を説明して参加するように誘っております。また、回覧を見逃してしまう高齢者が多いので、階段下の掲示板に貼るようにしました。声を掛けてもらえると嬉しいとのことで、1人いるとだんだん人が集まってきて、楽しくおしゃべりをしています。



高齢者交流事業&団地お楽しみ会

緑ヶ丘団地自治会

高齢者交流事業と団地お楽しみ会は、コロナ禍で休止していましたが、再開したいと考えています。

高齢者交流事業は、コロナ禍での運動不足解消のため、百歳体操を取り入れる予定です。また、集会所を開放するなど、高齢者が自由に交流を深められるよう工夫していきます。

団地お楽しみ会は、大人と子どもが大勢参加し、賑わいを見せる事業でした。夏には流しそうめんやスイカ割りなどをしたり、冬には芋煮会やビンゴゲームなどをしたりして楽しんでいました。子どもの数が減り、今までと同じようにはいかないかもしれませんが、かつてのような賑わいを取り戻す会にしたいです。



ボウリング大会の復活

美原町自治会

ボウリング大会は人気のイベントでしたが、コロナ禍では開催を見送り、代わりにウォーキング大会を実施していました。ボウリング大会のお楽しみは中身の见えない賞品で、点数が低い人でも高額な賞品が貰える場合もあります。幼児から高齢者まで60名程が参加し、景品や食事を楽しんでいただきました。

そんなボウリング大会を令和6年度に復活させる予定です。以前のように幼児から高齢者までたくさんの方に参加していただき、喜んでもらえると嬉しいです。



越堀秋まつり

越堀自治会

越堀地区では、以前は自治公民館主催のお祭りを行っていましたが、集客力が弱く、資金も不足していました。そこで、「多くの人に集まってもらえる場を作ろう」という自治会長の意見に皆さん賛同してくださり、自治会、育成会、自治公民館が連携して、合同の大きなお祭り「越堀秋まつり」を平成29年度11月に初めて開催しました。

3歳の子どもから90歳以上のお年寄りまで、100名以上の参加者が集まり、子どもみこしや餅つきなどのほか、最後に餅まきやミカンまきを行いました。餅つきでは、臼や杵を見たことがない子どもたちも多く、実際に体験して喜んでいました。餅まきでは、大人も童心に帰って楽しんでいました。ここ数年はコロナ禍で開催を見送っていましたが、再開に向けて準備を進めていきたいと思います。



ふれあい体育祭

方京自治会

地域内住民の相互の連携と融和、協調や地域への愛着心を培うため、毎年9月に、大原間小学校の校庭で「ふれあい体育祭」を開催しています。

ふれあい体育祭では、競技種目の中に、自主防災会活動の一環として、消火バケツリレーやけが人救出、搬送方法を教示するリレー種目を取り入れ、自主防災に対する意識の高揚と啓発に努めています。その他、参加者の年齢層に合わせた幅広い競技種目を取り入れる工夫をしています。

ふれあい体育祭は、回を重ねるごとに参加者も増え、年齢層も幅広く、子どもから高齢者までの参加により文字通り『ふれあい』が図られていると言えます。

コロナ禍により一時休止していましたが、令和5年から再開しています。

このふれあい体育祭は、地域のつながりと連携を図り、団結心や協調性、地域力の向上、地域に対する愛着心を培うため、第30回目を数え、さらに今後も継続していきたいと思います。

盛んなサークル活動

石林自治会

石林自治会は、平成30年6月に自治公民館の修繕・増改築を行い、より使いやすくなった公民館を拠点に活動しています。

その年の7月から自治会・長寿会主催で「いきいき百歳体操」を始めました。

また、サークル活動が盛んで、カラオケ大会、グラウンドゴルフ、ラージボール卓球、スポーツ吹き矢を毎週1～2回実施しています。そば打ち会、カーピング会、コカリナ会は月1回実施しています。



自治会交流会

高柳自治会

「高柳自治会交流会」は、毎年11月中旬に開催する自治会住民の交流イベントです。このイベントは、約20年続いており、当時の自治会長が、『地域で住民同士が交流する機会を作りたい』と「公民館まつり」として始めたものです。その後、「自治会交流会」として毎年恒例のイベントとして定着しています。

内容は、焼きそば、餅、うどん、おでんなどの食べ物の提供とバルーンアート、手品などの催し物、写真、盆栽などの趣味の展示などを行っています。コロナ禍で3年ほど休止していましたが、令和5年度に再開し、子どもから高齢者まで約300名の参加がありました。

開催にあたっては、回覧でPRし、抽選券を世帯1枚配布しました。育成会を通して保護者にもPRしています。また、多くの住民の方に来ていただく工夫として、高齢者専用の席を用意するようにしています。

開催準備は、自治会役員、育成会、班長のほか、自主的に協力してくださる方が多く、総勢40名程でスムーズに行うことができました。

抽選会についても、住民の方の協力で、米、野菜、果物などの提供を受けて、賞品として実施しています。

この地域は、自治会行事に対してとても協力的な方が多く、行事の際も積極的に先に立って行動してくれるので、役員だけに負担がかかることなく、無理のない範囲で活動することができています。



クリスマス会

商工会館において、南郷屋自治会育成部の子どもたちと高齢者約100名が参加しクリスマス会を行いました。初めに育成部児童からスクールガードボランティアのみなさんへ感謝の言葉（右の文章）がありました。その後、第一部の「ビンゴゲーム」を行いました。カード番号が揃うことを競うゲームで、数字が揃う前のリーチではとてもエキサイトしました。第二部はフェアリーヴォーチェによる「クリスマスコンサート」でしたが、子どもから高齢者まで参加することで、地域のみなさんとの交流の場が図られていると言えます。このような行事や活動を行うことで、地域の多世代間の交流と連携を図り、この地域に住んで良かったと思ってもらえることに繋がってもらうため、今後も継続して行きたいと思います。

いつもスクールガードの仕事をやってくれてありがとうございます。
 っと思います。ほくほく6年生です。二年生のつめは津かづきがた
 のですがみなさんの見守りのおかげで毎日安全にすご
 うてきました。スクールガードのみなさんには、とうとうお
 とさん（けい）とすもも君の誕生日、空の寒い日も見守
 ってくれて本当にありがとうございます。（ま）は来年中
 学生になります。月まで「はま」また「お」おはなれ
 が早く来るとおぼろけなごめんおはなれおはなれ
 ったいです。おはなれおはなれおはなれおはなれ



繭玉づくり

毎年、お正月明けに南郷屋公民館において、自治会恒例行事となっている繭玉づくりを育成部と自治会高齢者の約60名で実施しています。繭玉は米粉に赤・緑・黄色等の色を混ぜて茹でた団子ですが、様々な色の繭玉を子どもたちと高齢者が楽しそうに水木の枝に飾りつけしていきます。繭玉づくりが初めての経験という子どもたちも多かったですが、伝統行事を楽しみながら行うことができたことと思います。飾りつけ終了後、「繭玉づくりは、1月15日の（小正月）に合わせて行われる行事で、繭玉は魔除けの色といわれる紅、青、白、黄、紫などの色と水木の枝に稲穂がこうべを垂れたようにつけ、無病息災や五穀豊穡を願う日本の伝統行事です。」と自治会長から参加者へお話があり、皆さんと今年一年を健康で過ごせるよう祈願しました。自治会では地域の高齢者と子どもたちの交流を図りながら、大切な伝統行事である「繭玉づくり」を体験してもらうことで後世に伝えたいと考えています。



地域ふれあい活動

毎年、秋のこだまさま祭典に併せて、地域ふれあい活動として、地域の老若男女みんなが集まって、グラウンドゴルフ、焼きそば作り、ビンゴ大会を行っています。

当日参加できなかった見守り対象のお年寄りには、班長が自宅に焼きそばを届けています。



北赤田自治会

秋祭り

秋祭りは、自治会役員が連携し、80歳以上の高齢者を招待して開催する、何十年も続く祭りです。平成29年度は、10月15日に開催し、焼き肉・焼きそば・けんちんうどん・ゲーム・抽選会などを行いました。

高齢者を招待しているため、高齢者の参加は多く、盛況でした。当日の天候が悪く、後半のイベントを中止しましたが、多くの方々に参加いただきました。

秋祭りは、自治会内のふれあいの場となり、自治会活動活性化にとっても有効な祭りとなっています。少子化傾向の中で、今後は、子どもたちの参加を推進していきたいと考えています。

上赤田自治会



地域交流活動（子ども向け）

黒七フリマ

黒磯七区自治会では、6月から11月まで、毎月1回、地元のお店の駐車場を借用し、フリーマーケットを開催しました。このフリーマーケットは、黒磯七区自治会員家庭の不用品等の交換を通して、親睦・交流を図ることを目的としています。また、黒七フリマの利益の一部は、黒磯七区自治会に寄付していただくことで、自治会の財政の活性化も図っています。

また、同時に各家庭にアルミ缶の回収を呼びかけ、特に子ども達が持ってきた場合は、アルミ缶30個で地域こども通貨『1クローナ』をプレゼントしています。その『クローナ』は、自治会がとようら夏まつりやとようら公民館まつりに模擬店を出店する時に、1クローナ＝100円で利用できることとしています。集めたアルミ缶は、アルミ缶回収事業を実施している豊浦小学校へ寄付し、豊浦小学校の活動資金の一部に役立てられています。

黒七フリマの記念すべき第1回目は、平成29年6月11日、那須塩原市の特産品である牛乳で乾杯をしてスタートさせました。会場は、県道に面した協力店の駐車場を借用、開店前の時間をフリーマーケットの時間としました。フリーマーケットの開催は、『黒七だより』（自治会通信）の回覧とポスターを近隣の店舗に貼ってもらうことで広く周知しました。またPR用の桃太郎旗を5枚作成し金曜日からお店の駐車場に置かせてもらい周知しました。

フリーマーケットに出店できるのは、黒磯七区の住民、子どもたちも保護者同伴で出店することができるようになりました。フリーマーケットの売り上げの10%（自己申告）を黒磯七区自治会に寄付することになっていて、合計で4万円以上の寄付がありました。

また、同時に回収しているアルミ缶も3,800個以上回収することができ、小学校に継続的に寄付を行うことができました。

黒磯七区自治会



ハロウィンイベント

子ども会の全員が参加し、親御さんも各家庭から1名ずつ参加してくれました。

また、小学校からも校長先生、教頭先生ほか2名の先生にもご参加いただきました。

内容としては、各班へ15分ずつの時間を割り当てて、全自治会員からお菓子のプレゼントを渡していただきました。ただ、お菓子を配るのが目的ではなく、子どもは地域で育てようと言いながらも顔もわからず挨拶も出来ない現代だからこそ、ふれあいを目的としています。なお、ハロウィンでの沢山のお菓子は、新たな分譲地にお住まいの小さなお子さん11名にもお届けしました。

豊浦町自治会

豊浦町ハッピーハロウィン開催！！ ～豊浦町の世代間交流～

10月30日(日)豊浦町自治会でハロウィンイベントが開催されました。仮装した子ども達が自治会内を練り歩き、笑顔と歓声があふれました。地域住民どうしの交流がさらに深まるイベントとなりました。



那須塩原市社会福祉協議会

令和4年11月作成

大人と子どもが地域を楽しむ！親子ウォークラリー

二区町自治会

コロナの影響で行事ができていなかった地域を活気づけるため、親子ウォークラリーを令和4年12月に行いました。18チーム、総勢57名が参加し、さまざまな問いに答えながら地域を巡りました。ゴール後、あみだくじゲームをして景品をもらった子どもたちは大喜び。大変好評で、このおかげかはわかりませんが、自治会加入者も3世帯増えました。今年も秋祭りと合わせて実施する予定です。



文化活動（鮎つかみ・餅つき・ニュースポーツ体験）

石林自治会

夏休み中に鮎の掴み取りを実施しています。子どもと大人が一緒になって、鮎を追いかけて、捕まえた鮎を塩焼きにして食べて、人とのふれあいや関わりなどを体験してもらっています。

また、伝統行事として12月に餅つき体験を実施しています。餅つき体験は、文化部、体育部が中心となり、子ども育成会、長寿会の協力をいただき実施しています。つきたての餅は、あんこ餅ときなこ餅にして無料で配布します。餅のほか、けんちん汁も提供しています。

ニュースポーツ体験は、ボッチャとディスコンを実施しています。



上井口温泉神社祭り

上井口自治会

毎年恒例のお祭りとして、10月に実施しています。

行事を行うときは、役員・班長会議で協力を依頼し、資料を回覧して参加を募ります。

自治会会員の方だけでなく自治会未加入世帯の人にも参加していただき、自治会加入のきっかけになるかが課題となっています。

育成会と共同で「高齢者と子どもたちとの交流会」を実施し、輪投げ大会やビンゴゲームでは大いに盛り上がりました。また、班長と体育部員により調理していただいた焼きそばやおでんを食べながら交流を図りました。

お祭りの前日には、神社総代の指導によりお祭り当番の10班の人がしめ縄づくりをし、例祭当日は温泉神社に五穀豊穡・地域住民の安全・健康祈願をし、料理とお酒でお祝いをしました。



世代間交流会

南赤田自治会

今年の世代間交流会は、参加者（児童（幼児）を含む、保護者、福寿会）の皆さんを2グループに分けて輪投げで点数をホワイトボードに記入し競う内容にしました。育成会の皆さんも福寿会の皆さんも、一喜一憂してゲームを楽しんでいました。

昔遊びの一つのけん玉も楽しみました。けん玉は子ども達もすぐ上手になり夢中で楽しみました。

最後は恒例のビンゴゲームで、ハラハラ・ドキドキしながらの楽しい時間を過ごしました。

表彰式では沢山の賞品を袋に入れ、弁当・お茶（ジュース）を持ち解散しました。

子ども・育成会（30名）を中心により多くの方々の参加を呼びかけ、自治会、福寿会は役員（14名）のみとして実施しても盛大に実施できました。



子どもたちが夢中になって魚を追いかける！

高阿津自治会

高阿津地区には、毎年8月に行う堰切(せっきり)という行事があります。堰切とは、鮎・カジカ・鱒・ヤマメが生息する常川から取り入れた用水路で行う魚捕りのことです。常根学園の児童を招待しています。自然そのものの川での体験とあって参加した子どもたちは大はしゃぎです。こうした体験を通して郷土の川に関心を持ち、川を愛し、きれいにしようとする気持ちが育成できればうれしいです。



環境美化活動

花植栽事業

30数年前、町内の美化運動の一環としてプランターを設置しました。毎年2回植栽交流を行っています。ここ数年は5月と11月にパンジーやベコニアなどの花を植えており、普段会うことの少ない地域の人たちや子どもたちと交流できるよい機会になっています。

数年前から、U字溝プランターの割れやタイヤを再利用したプランターの劣化が目についていたため、令和2年度にプランターを新しく購入しました。

地区の小公園と25カ所のプランターにみんなで花を植えました。その花に親子で水やりをする姿も見られました。これからも続けていきたいです。

黒磯幸町自治会



ごみ減量への高い意識

2ヶ月に1度、月末に資源ごみの回収を行っています。役員や班長など5名ほどが参加します。自治公民館に集められたビンや缶、古紙、紙パックなどの資源ごみを分別し、業者に引き取りに来てもらいます。引き取りで得られたお金は、全額自治会の収入に組み入れています。

その他、児童の登下校時に月2回行っている防犯パトロール活動のうち1回は、町内を回って歩くパトロールに合わせて、道路のごみ拾いも実施しています。

こうした活動を通じて、ごみに対する意識が変わり、ごみの減量につながっていると思います。

松浦町自治会



環境美化活動

毎月1回定期清掃をしており、清掃をしながら見守り活動も行っています。

また、昨年から団地の出入り口に花壇を作って、花壇整備委員の方に花壇の手入れをしてもらっています。

若松団地自治会



環境美化活動

団地周辺の市道脇や公園の花の植え替えを行っています。また、日頃から各棟の住人自らがボランティアで枝の剪定や除草作業等を行っており、環境美化に努めています。

現在は、ボランティアで参加してくれる住人が少なくなり、苦労していますが、根気強く声を掛けていき、協力を要請しています。

緑ヶ丘団地自治会



資源ごみ回収

下永田自治会

自治会の組織が分担して、年6回資源ごみの回収を実施しています。小学校育成会2回、中学校育成会1回、長寿会2回、生産組合部1回それぞれの団体を中心となって実施しています。

この事業は、年6回と長期に渡り行っていることと、集めた資源ごみが各団体の資金となることから、活発に行われています。特に、西那須野中学校の生徒が、ボランティアとして積極的に参加し、地域貢献と福祉の手伝いをしている事業です。

資源ごみの回収は、それぞれの家庭に貯めておいた新聞紙、段ボール、アルミ缶、スチール缶を業者のトラックに積み込み作業をし、そこで得た資金の活用は、小学校と中学校の育成会では卒業祝い、長寿会では2ヶ月に1回の誕生会や一泊の温泉旅行、生産組合部では部の活動資金にしています。



環境美化運動

三区町自治会

①市民一斉美化運動のほかに、自治会独自にごみ拾い活動を8月と2月に実施しています。

②多面的機能支払交付金制度事業として活動している三区町環境保全隊と連携し、ゴミゼロパトロール隊を結成しました。市民一斉美化運動や①の取組以外の月にごみ拾いを行っています。

③三区町環境保全隊と連携し、遊休農用地へ芝桜の植栽や自治公民館敷地や道路沿いへの植栽を実施しています。



廃品回収

高柳自治会

各世帯に協力いただき、年3回廃品回収を実施しています。なお、今年からそのうちの1回は、中学校と合同で実施しています。回収品目は、新聞・雑誌・段ボール・缶・瓶類などです。

回収日の前に、回覧で日にちをお知らせし、当日朝に、各世帯が資源物を自宅前に出す方法で行われます。出された資源物を美化委員や班長が軽トラックで回収し、自治公民館で集約し、業者に引き渡します。分別は、ごみ減量推進員が中心となって行われています。

毎年多くの世帯の協力があり、10万円を超える収益があります。収益金は、自治会活動のために使用しています。



防犯・防災活動

独自の防災計画を作りました

黒磯七区自治会では、県地区防災計画策定促進事業のモデル地区指定を受け、自主防災計画を作りました。計画策定に当たり、昨年10月から4回の講習を受け、防災マップづくりも行いました。また役員の意見を基に黒磯七区防災方程式（合言葉）も作りました。

『黒磯七区の防災活動＝備える+協力+助ける×日ごろの人間関係づくり』今後はこの合言葉のとおり、さまざまな行事を通して人間関係づくりを実践します。

黒磯七区自治会



防災活動

消防団の皆さんの御協力のもと、119番のかけ方や消火栓の場所の確認を子ども会と一緒に実施しています。

豊浦町自治会



歩け歩けレクリエーション（防災訓練&レクリエーション）

松浦町自治会

歩け歩けレクリエーションとして防災訓練を実施しています。当日は、班ごとにそれぞれの一時避難場所に集まった後、松浦町自治公民館に集合。消防署員より消火器の使い方、人工呼吸、AEDについての講習があり、実際に体験しながら救命救急の方法を学びます。

その後、自治会の防災パトロール隊先導のもと、自治公民館から市指定の避難場所になっている武道館まで約1.5kmの道のりを実際に歩き、歩けない方には車いすを使用するなど避難誘導訓練を行います。避難誘導訓練の参加者が自治公民館に戻ってくると、給食・給水班の参加者がお出迎えし、おにぎりや飲み物を手渡します。訓練には多くの子ども達も参加しており、綿あめづくりや輪投げ、玉入れ等のゲームを取り入れ楽しんだりしました。

以前は、バーベキュー大会も併せて実施していましたが、コロナ禍で開催を見合わせていました。バーベキュー再開を望む声があるので、今年度は再開に向けて動き出しています。

防災訓練とレクリエーションを組み合わせ、『歩け歩けレクリエーション』としたことで、毎年参加者が増えて防災意識が高まっています。大人だけでなく、幼児・子どもや高齢者も喜んで参加しています。



自主防災組織の創設

北栄町自治会

近年の災害多発を受け、一次被害の減災を目的に、北栄町自治会自主防災会の創設及び市補助金活用による防災倉庫の設置、災害時緊急自治会内連絡網の設置を実施しました。

市補助金を基に「北栄町自主防災計画」冊子を作成し、会員に十分なご説明を実施、さらに「私達の北栄町自主防災会」という説明の動画を作成し、それをYouTubeで配信し、そのQRコードを自治会誌に掲載するなどの理解促進の手段を複数実施しました。この動画では、北栄町自治会連絡網設置の意義が、災害時の共助の促進になる根拠と、日常及び非日常の使い方を中心に説明しています。

また、9月1日の防災の日に合わせた「デジタル化防災訓練」を実施しました。これは、那須塩原市や総務省などの出典のしっかりした防災動画を、事前に三本配信し、その内容に沿ったクイズを1日に配信、その日の自由な時間に回答いただくというものです。参加世帯数は32世帯のご参加がございました。初めての試みにしては多いかと思われます。

その後、2024年1月1日に発生した能登半島地震のニュースで「崩壊直後は生きていた。誰も助けに来てくれなかった。誰かが手を貸してくれたら・・・」という言葉が何度も放送されました。それを見聞きする度に本当に私も涙が止まらないのと同時に、「共助の組織的仕組等、私達も防災への“備え”を一刻も早く成し遂げる必要がある!」と、決意を新たにしました。

地域防災のデジタル化

北栄町自治会

年々増えている自然災害などの発生時、「警報の発表～その情報を全戸に伝達～支援体制確認と実施～全戸が警報に沿った行動を実施」までに掛かる時間で、明暗が分かれると言われています。私たちはそれをデジタル化し、独自の北栄町自治会一斉メールの機能（リモコンメール、回答システムなど）を駆使して、「15分以内で!」実施することを目指しています。令和4年の春から、まずは全戸の一斉メール登録をスタートしました。今後も、更に充実した支援体制を整えていきたいと考えています。



避難訓練

越堀自治会

越堀地区は、東日本大震災の際も屋根瓦が落ちる程度で大きな被害はありませんでした。そのため、安全・防災の意識が薄いことから、年1回の意識づけを目的に避難訓練を行っています。

防災用ベストを着用した班長の指示のもと、各班でそれぞれ集合場所に集まり、その後自治公民館に避難しました。公民館では元消防署員の方から防災についての講習を受けました。

防災倉庫の備品の確認も行いました。乾パンや非常用のご飯を子どもたちに配り、実際に食べてみることで災害に対する意識の向上を図りました。非常時の自治会の結束を確認し、最後は牛乳で乾杯をして締めくくりました。



「共生と継承」を目的とした防災訓練

長久保町自治会

平成10(1998)年に発生した那須水害のビデオを再編して全戸に配布し、地元で起こった災害への対応や復旧について、各家庭で認識を共有しました。また、災害時に備えて炊き出し訓練も行いました。事前に参加者を把握し、役割分担を決めたため、スムーズに運営することができました。子どもたちからリクエストのあったかまど炊きごはんのおこげが、今後も継承されていくとうれしいです。



通学路安全確認とカーブミラー清掃

西三島自治会

市主催の春の市民一斉美化運動と連動して、毎年、通学路安全確認とカーブミラー清掃を行っています。

この事業は、育成会と協働で、若いお父さんたちが通学路を見回り、カーブミラーを清掃点検し、その他危険な箇所がないか点検します。

作業を行う時は、ヘルメットの着用と周辺の車の通行等に気を付けながら安全面を考慮しています。グループを2班に分けて、数人で危険箇所を点検します。カーブミラーの割れや曲がりを発見したら自治会長に連絡し、補修を依頼します。

この事業は育成会との協働で実施していることから、事業の際に出会う保護者の皆さんに他の自治会事業への参加も呼びかけ、自治会に加入していない方にはぜひ自治会に加入いただくよう案内をしています。

スクールガードボランティア（平成18年～現在）

西三島自治会

平成18年に、三島小学校および三島小学校区の自治会と協議し、「三島小学校区子ども安全推進連絡会」を立ち上げ、下校時の見守りを行う『スクールガードボランティア』（SGB）として活動を開始しました。当時、ボランティアとして手を挙げた方は233名、西三島自治会内でも52名だったと聞いています。12年を経過し、当初のメンバーも高齢化で引退された方もいますが、現在22名程の人数で月曜日から金曜日の下校時、天候にかかわらず下校時の見守りを行っています。

ボランティアの皆さんが子どもたちに明るく声を掛け、挨拶を交わすことで、お互い親しみを感じ、安心してコミュニケーションを図ることができています。

また、犯罪の抑止や交通安全意識が高まり、地域の連帯感が生まれています。そして、子どもたちにとっても、見守りの効果によって、感謝の気持ちを持って安心して暮らせる環境が整えられていると言えます。



青パトによる防犯パトロール（平成27年～現在）

西三島自治会

スクールガードボランティアの高齢化、人数減少により、見守り範囲を少しでも軽減するために、更には、三島地区住民の防犯対策の一環として、西三島自治会では車両での防犯活動ができないか検討を重ね、青色パトロール（青パト）を導入することになりました。

地域住民の寄付やボランティア運転手の協力を募り、車両の購入などの準備が整い、警察署からの許可もおりて、平成27年4月21日に西三島自治会による青色パトロールの出発式が行われました。

パトロールは、主に三島小学校と三島中学校の下校時間に合わせて巡回します。ボランティアの運転手は21名おりますが、スクールガードボランティアと兼務しているため、週に2、3回巡回を行っています。また、年に1回、全国交通安全運動に合わせ、那須塩原警察署と西三島自治会防犯パトロール隊との合同パトロールも実施しています。

子どもたちの下校時の見守りや青パトによる地域防災活動特に青パトを維持管理していくには経費が必要です。

子どもたちの安全のためにもぜひ自治会への加入をお願いしたいと思います。



自主防災訓練

北赤田自治会

地震、水害、その他の災害による被害の防止と軽減を図ることを目的に、自主防災会を組織しています。毎年、秋のこだまさま祭典の前日に、自主防災訓練を実施しており、資機材の点検・整備や消防署職員に立ち会ってもらい、消火器による消火訓練やAEDの使い方などを学んでいます。



防犯・防災活動

上赤田自治会

防犯のため、防犯灯を設置し、維持管理を行っています。広範囲に照明が行き届くように、防犯灯周りの枝木を除去しています。

また、防災活動として、上赤田自治公民館の敷地内に防災倉庫と防災用砂置き場を新設しました。

防災倉庫には、スコップやライト、小型の発電機などを備蓄し、災害時に備えます。

防災用砂置き場には、災害時に土嚢を作れるよう日頃から砂を備蓄しています。



地域福祉活動

加入して良かったと思える“平等公平な”自治会運営を

豊浦町自治会

コロナ禍で制約があったからこそ平等公平な見守り活動に力を入れていました。自治会役員と民生委員が全自治会員宅を訪問し、防災・防犯の啓発をしながら、市指定ごみ袋やトイレトーパーなどの生活用品、めんつゆなどの食料品を毎月自治会に加入している全家庭に届けています。この活動は、現在も継続しており、令和6年度で5年目になります。

加入していて良かったと誰もが実感できる自治会を豊浦町は目指しています。



健康講話&防災・交通安全教室

若松団地自治会

令和5年10月22日に4年ぶりに高齢者教室が開催されました。参加者の方は、包括支援センターの職員や社会福祉協議会の職員から健康・予防のお話・健康体操などを指導していただきました。その後、若松駐在所長より交通安全・オレオレ詐欺予防の講話をしていただきました。余興ではキッズダンス・フラダンス・フォークダンスを楽しんでもらいました。

また、11月11日にはいつものようにビデオを見ながら第4回百歳体操を行いました。今回はいつもの体操に加えて「しゃきしゃき百歳体操」、「かみかみ百歳体操」もビデオを見ながら行いました。このビデオは、脳トレ・認知症予防にとっても役に立っています。私たちはこのような教室に参加していつまでも元気で他の人に頼らず生活ができるよう心掛けたいと思います。



自治会貢献者の慰労

北栄町自治会

敬老の日に合わせて、市の補助金を活用させていただき、御前弁当を特注し、班長や民生委員のご協力の下、敬老事業の対象者の方に一軒一軒、お礼の言葉を添えお届けしました。

これまで対象ではありましたが、会場までお越しになれなかった多くの方から「敬老会会場まで、足腰が弱く行けなかったのが、本当に嬉しい」と配達していただいた方を通じて御礼の言葉を頂戴いたしました。また、自治会内ですれ違う際も「立派な御弁当を届けていただきありがとうございます。」などと声を掛けていただいています。

【成果や今後の課題】

ふれあい芋煮会と同様に「高齢者は他の人々とのふれあいを求めているが、お祭りなどへの参加は、体力的に難しいと感じている」ことを実感しました。その経験から「体力に関わらないふれあい行事」の必要性を切に感じています。

自治会内一斉メール連絡網を活用した高齢者の見守り

北栄町自治会

以前は考えもしなかった「老々介護」が、現代では当たり前の時代となったように、高齢見守りも「老々見守り」の時代が訪れると考えるのが妥当であり、それに備え、それを支える社会システムが必要であると思っています。社会システムの構築は自治会の範囲を超えていますが、自治会でも可能な手段があるものと考えています。その一つの手段として、当自治会では既に導入済みの連絡網の「グループ内送受信機能」を活用し、お友達高齢者同士のグループ連絡網(一グループあたり数人で)を作り、そこで『おはようメール』の実施を検討しています。



これが北栄町自治会のSDGs、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための「高齢者見守り」システムです。仮に北栄町自治会内全員が高齢者見守り対象者となっても、持続可能な「北栄町自治会方式高齢者見守りシステム」です。

また、「高齢者同士というお友達が居ない」場合は、地区の民生委員と連携し、その方々のためのグループを作っていければと考えています。

誕生月花プレゼント

東那須野区自治会

東那須野区自治会では、「駅前助け合いたい」による高齢者見守りの活動を行っています。80歳以上の敬老会招待者(令和6年度は61名)を対象に、4、7、10、1月の年4回対象者宅を訪問して健康状態などを確認しています。このほか、対象者の生まれ月に「たい員」が花の鉢植えを贈る「誕生月花プレゼント」を実施していて、皆さんには大変好評をいただいています。



つながり合い運動

三区町自治会

高齢者の見守り活動として「三区町つながり合い活動」を令和4年度に組織化しました。民生委員と自治会長経験者や医療経験者が福祉協力員として、75歳以上の独り暮らしの高齢者を月に1回訪問しています。

令和4年度の対象者は24名であり、見守り活動を行う福祉協力員は民生委員4名・自治会長経験者7名・医療経験者1名・民生委員経験者1名であり、今後増員を検討しています。

地域福祉活動（友愛訪問・げんきかい）

石林自治会

地域福祉活動として「友愛訪問」と「げんきかい」を実施しています。

「友愛訪問」では、高齢者（80歳以上）に年3回の手土産（トマト、トコロテン等）とお手紙を届け、見守り活動を行っています。自治会内を6ブロックに分け、自治会役員、民生委員、長寿会役員、社会福祉協議会が実施しています。

「げんきかい」は、会員のネットワークづくりのため、年3回グラウンドゴルフ体験や手芸体験、寄せ植え作りなどを実施しています。



生きがいサロン活動

南郷屋自治会

コロナ感染症がら類に移行したことにより、自治会活動も徐々に動き始めてきました。感染対策を講じ、菓子づくり講座を企画したところ参加者も30名ほどありました。まず、参加者をグループに分けてから全員身支度し準備万端整えました。初めのうちは配付されたレシピと講師のお手本を見ながら心配そうに材料を混ぜていましたが、だんだん要領をつかむことができました。道具やオーブンは三島公民館や個人所有の道具を借用しました。道具の使い方・混ぜ合わせ・あん包みなど共同作業でコミュニケーションも上々でした。最後に生地の上に切り込みを入れ、そこにいちごをのせて、「いちごクリーム大福」を完成することができました。久々に公民館の調理を楽しみ、地域の皆さんと和気あいあい過ごすことができた満足感を覚えたひと時でした。



いきいき子育てサロン

西三島自治会

幼児（主に未就学児）とその親を対象に月2回西三島公民館で「いきいき子育てサロン」を開催しています。このサロンは、ここに集う子どもたちと親、そしてサロンをサポートするスタッフ（年輩の方々）との親睦を図る『ひろば』作りを目的としています。

毎回、趣向を凝らしながら親子をお迎えしており、例えば、夏の暑いときには外にビニールプールを用意したり、12月にはお楽しみ会としてクリスマス会を開催し、プレゼントを用意したりしています。子どもたちの遊び道具も用意しており、子どもたち同士の遊びのほか、ちょっとした喫茶コーナーで小さい子どもを持つ親同士が会話をしたりやサポートする年輩の方々が子育ての悩みごとの相談に乗ったりもしており、楽しいひと時を過ごせるよう皆が協力し合っています。

サロンを通して、公民館に来ると楽しいことがあるということを知ってもらい、地域住民の方々に浸透すれば、自ずと自治会加入促進につながっていくと考えています。



いきいき百歳体操

西三島自治会

元気なまちづくりを目指した健康寿命延伸に向けた事業の一環として、「高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく、健康で生き生きとした生活を送れるように支援する」ことを目的として、平成28年5月に『いきいき百歳体操』を展開することにしました。生き生き百歳体操は、高知市の理学療法士が開発した筋力運動にバランスと柔軟性をプラスした体操です。

いきいき百歳体操を継続することで、その後の体力測定において、ほとんどの方に改善が認められました。体力年齢の向上や転倒などのリスクも低減され、医療費削減につながっていると思われます。

いきいき百歳体操は、運動の効果もさることながら、公民館に集うことで、皆さんの憩いの場になり、顔見知りになります。毎週金曜日の午前10時から西三島公民館で30分程度の体操を行っています。

地域の皆さんが運動だけでなく、和やかに会話することで、脳の刺激になり、気分転換、ストレス解消のほか、住民同士の信頼関係が生まれ、効果がたくさんあります。

また福祉祭りのバザーなどの売上金で、血圧計やAEDの設置をし、万が一に備えています。



高齢者お楽しみ会

南赤田自治会

自治会（役員・一般）、生きがいサロン、社会福祉協議会、総勢45名の参加でスティックゴルフを総当たり（団体賞と個人賞）で和気あいあいと楽しみました。点数の大きい所を真剣に狙い、声援と笑いで盛り上がりました。

表彰式の後にはビンゴゲームの時間がなく、自治会長とのジャンケンを楽しみ、弁当・お茶が配られ、袋一杯の土産を手にとりました。

時間を忘れるくらい夢中になれる楽しい時間を過ごされたようでした。



地域福祉活動

北赤田自治会

地域の高齢の方が生きがいサロン（地域の高齢の方の寄り合い所）を自主的に運営しており、月2回公民館に集まって、輪投げなど行って、体力の維持・増進や親睦を深めています。



自治会加入促進

自治会加入促進の取り組み

豊浦中町・上豊浦3-1自治会

転入者には、自治会の総会資料を持参し、わかりやすく説明しています。また、アパートの管理会社や分譲地の開発事業者に自治会加入の協力をお願いしています。アパートの入居に当たって自治会加入の案内をしていただいたり、住宅の販売チラシ等に自治会加入の案内を掲載いただいたりしています。

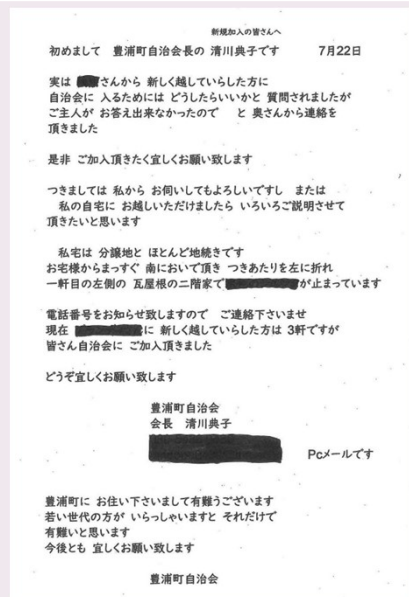
自治会加入促進

豊浦町自治会

新たに住宅を建てられた方へ、1軒1軒に個別訪問し理解をしていただいております。

なかなかお会いできないご家庭には、それぞれのご家庭にあわせた内容のチラシを投函し、直接お話しできるように務めています。

また、加入促進については、顔が見える自治会が大切だと思っており、自治会に入って良かったと実感していただける活動が、より大きな理解に繋がると思っております。



自治会活動活性化について

上井口自治会

自治会会員の中で、高齢者や分譲住宅に住む住民の自治会離れが多く、入会者も少ない状況にあります。自治会未加入の対策として、役員・班長会議で自治会の取り組みや、メリット・デメリットを話し合い、自治会加入促進のパンフレットを作成し配布しました。

地域における助け合い事業では、「上井口見守りの会」により班長さんが中心になって近隣の対象者の方の見守りを月に1回から2回ほど実施しています。

自治会員の負担軽減と、新規加入しやすくするために自治会員の年会費を10,000円から8,000円に下げました。（新型コロナで事業縮小の時期は5,000円で対応しました。）

各種イベントには役員・班長が積極的に参加し、「楽しさ」を他の会員にアピールしてもらっています。

地域住民が安全安心に生活できるよう、「住みよい地域・上井口」を目指しています。

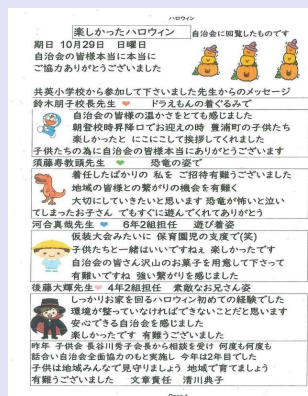


手作りの回覧作成

豊浦町自治会

手作りの回覧を多く作り、また文字を大きくすることで誰も見やすいようにしています。

各事業ごとに参加頂けるよう工夫しています。



自治会広報誌の発行

若松団地自治会

自治会の活動終了後に写真を取り込んだ自治会広報を発行して回覧しています。

見逃してしまう方が多いので、回覧の後に階段下の掲示板や集会所に貼っています。

写真を多く取り入れ分かり易い広報を発行して多くの入居者の方に自治会の事をお知らせしていきたいと思っています。



自治会誌「ちょっと聞いて!」の毎月発行

北栄町自治会

回覧板の日に合わせ、他と重複しない内容を心掛けた自治会誌を毎月発行しています。また、高齢者に配慮し、大きな文字や写真、イラスト等の多用も心掛けています。

発行の目的は、当初はコロナ禍により閉塞感のあった地域内を、様々な情報をお届けすることで少しでも緩和したい気持ちからでした。しかし、新規転入なされた方のご紹介(勿論、ご本人の承諾を得て)や町内の出来事、執行部の総会決議活動の進捗状況など、他と重複しないよう話題を選び発行していくうちに、当初は各班1部ずつであった発行部数を「家族にも見せたいので、各家庭に1部ずつ欲しい」との声から、各戸配布となり、最近では、発行の目的を自治会内の「見える化」手段として考えるようになりました。勿論、十分なプライバシーに配慮した記事内容としています。

この体験から教わったことは大きいもので、自治会活動自体を知らせる必要性があるということでした(当たり前と言えばそれまでですが)。事実、ネットで各地の「自治会アンケート」などを読みますと、「自治会活動は何をしているか分からない」が必ずトップ10に入っていることから裏付けられます。

また、自治会内連絡網では、市からの情報も時折配信していますが、タイムリーな配信を心掛け、慎重に情報を選択し配信しています。つまり、回覧板又は市HP、メールなどで得た情報であっても、自治会内に届ける時期によっては、その効果が大きく変化することを意識した配信としています。

自治会活性化

豊浦町自治会

全ての事業において、子どもたちの歓声があり、親御さんの笑顔があり、大変喜ばれています。子ども会の皆さんに自治会を理解していただくことが、自治会発展に繋がり、また自治会からの脱会を防ぐ大きな効果があります。個人的な考えですが、全てのご家庭のお子さんの名前を覚えるようにしています。どこかで会ったときに、名前を呼んで声をかけています。遠くから走ってきてくれるお子さんもあり、自治会運営にとっても良い効果があります。

新たに自治会に加入された皆さんからも毎月の見守りに対して感謝されており、行事に積極的に参加して下さいます。

また、一斉清掃を自治会の皆さんとの顔合わせの場と考えており、毎月の見守り品の受け渡しもこの清掃日にあわせて行っています。各班がまとまっている時間帯にお届けし、何人参加していただいているかを確認することで、ほとんどの方と顔見知りになり、挨拶を交わせるお付き合いが構築されています。

このほか、小学校の賛助会費の依頼時に後援会会長に同行してもらい、一緒にお願いをしています。

顔が見え、偏らず、平等公平な自治会を理解して頂けたらどんな行事にも参加していただけて、良い結果が出てきます。

自治会活動の中で工夫していること

美原町自治会

自治会活動を活性化していくために工夫していることは、

1. 活動をする中で、必ず幼児から高齢者までの参加者を募ること
2. 回覧時には、活動（イベント）の内容を分かりやすく、具体的に入れるようにすること
3. 活動（イベント）する時は、参加者全員に参加賞を配布し、さらに幼児用の参加賞にも気を配ること
4. 地区の一斉美化運動の時に、特に子どもに参加するように促すこと

また、活動をするにあたり、できるだけ班長にイベントの内容を説明し、内容を把握した上で行動してもらっています。

高齢化に伴い、自治会長のなり手がいない中、後継者育成も必要であることから、できるだけ役員を含む班長も行動を共にするようにしています。

大切なのは、人と人との繋がり、健康の大切さ。懇親会の席での若者の30秒スピーチなどで交流を深めています。



全ての会員が活躍する自治会に向けて

沓掛自治会

沓掛自治会は、男性の役員が多い組織でした。自治会の運営には、女性の目線での取組が必須です。4年前から会計に女性が、今年度からは副会長が女性となりました。今後も女性の役員を増やして、男性と女性の比率が同じくらいになることを目指しています。

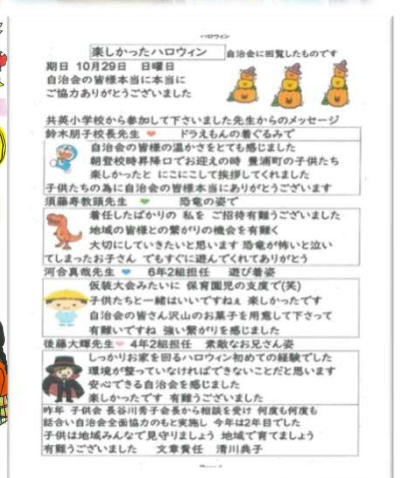
沓掛自治公民館は、地域の方々に広く使ってもらい交流の場にしたいと考えています。昨年は、回覧版で利用を募ったところ、子育て中の自治会員が子育てイベントを開催してくれました。今後も自治会内の全ての会員が活躍できる自治会になることを願っています。

自治会活動活性化のために

南赤田自治会

南赤田自治会では、1アパートと数軒を除き、殆どの世帯が自治会に加入しています。自治会活動を全世帯に知ってもらうため、年1回広報誌（のびのび南赤田）を発行し、全世帯に配布しています。広報誌は、文字を少なくし、写真を多く載せ、より多くの人が自分が載っていることを確認できます。

行事名は同じでも中身を変え、マンネリ化を防ぎ、多くの人に参加いただく工夫をしています。以前は班対抗だったスポーツレクリエーション大会も個人でも参加できる種目に工夫しています。高齢化と向こう3軒両隣の希薄化が進んでいるのが課題です。



情報提供の御協力ありがとうございました。

【発 行】
那須塩原市自治会長連絡協議会
那須塩原市市民生活部市民協働推進課

〒325-8501 那須塩原市共墾社108-2
TEL : 0287-62-7151 / FAX : 0287-62-7500
email : shiminkyoudou@city.nasushiobara.tochigi.jp
email QRコード :

